

霧雨の平標山～大源太山～三角山

山行日 2019年6月9日(日)～10日(月)

行程 1日目： 松戸 6:06＝上野 6:42＝越後湯沢 8:06＝平標登山口 9:00－平標山の家 11:50/13:00－
平標山 13:43－平標山ノ家 15:00
2日目： 平標山ノ家 6:30－大源太山 7:35/7:50－三角山 8:10－平標登山口 11:30
費用 電車代；8340円 バス代；1130円 入湯料；600円
山小屋の宿泊料；7500円

谷川連峰縦走路 2泊3日の計画でしたが、梅雨に入り天候が悪く 6日夜に計画変更になりました。
1日目 朝家を出るときは傘をさして駅に向かいましたが、新幹線に乗り北に行くほどに良くなり、トンネルを抜けると薄日が差してきました。

30分ほどバスに乗り登山口に着き準備をしておりますと 松手山コースを既に登山中の Wさんより風も強く良くない知らせが入りましたので、私達は岩魚沢林道から上信越自然歩道を通るルートに変更平標山ノ家を目指しました。

平元新道辺りから雨具を着た下山者とすれ違うようになり尋ねると、上は悪天候との事 私達も上のみ雨具を付け 程なくして山の家に着きました。

昼食を摂りながら話し合い今宵の宿にザックを置いて 平標山に挑戦することにしました。

森林限界を超えると笹原でアズマシャクナゲ・タカネサクラ・ミネズオウ・オーレン・ショウジョウバカマ・イワカガミ等々眺望が効かない分 足元の高山植物に心奪われ緩やかな尾根道を美女？《ビショビショ》 5人組の元気な話声が響きました。

途中には雪渓もあり、頂上は風も強くじっとしてられない状態です。写真を撮って早々に仙ノ倉の途中まで行ってみる事にしました。東側の木の階段を降りて行くとお花畑が広がっていました。ハクサンコザクラ・ハクサンイチゲ・イワカガミ・ミヤマキンバイなどの花々は 厳しい環境下で背丈も低く精一杯咲いていました。霧雨に包まれ幻想的で 美しく感動しました。

3時頃山ノ家に戻りましたら 濡れた雨具を乾燥させるために ストーブに火を入れてくれました。

夕食までの間 日頃のストレスを晴らすべく女子会の始まりハジマリ・・・

8時消灯まで続きました。



2日目 朝 山ノ家は霧に包まれていました。前日より悪い天気予報なので、仙ノ倉を諦めて高山植物を求めて大源太山をめざすことにしました。

登山道の両側にはイワナシ・ツバメオモト・ラショウモンカズラ・エンレイソウ・マイズルソウ・低木のムラサキヤシオ・サラサドウダン・ウラジロヨウラク等々 登山道の土砂崩れ斜面脇にシラネアオイも咲いていました。どれもみな生き生きと輝いていました。

三角山登山道に行きますと あまり人が来ないのでしょうか？ ワラビが面白いほど採れました。

毛無山の手前を右折して上信越自然歩道に合流し、昨日と同じ林道を下山しました。

途中ヤマウドを get 野生に戻り食しました。ヤマウドは香りも良く市販のものより美味しかったです。帰宅後おなかを壊した話は伝わってこないのよ ヤマウドに間違いなかったのよ。

登山口まで戻った美女美女?!《ビショビショ》5人組はバス時間までだいぶありましたので、地元の方に入浴施設を尋ねると・・・何と親切にも車で送ってくれました。(二居の公共施設 宿場の湯まで歩いたら40分程かかります。) 感謝! 感激!

サッパリした私たちは 「これで新幹線に乗せてもらえるね」と満足。駅で山菜のお土産を買い求め 遅いお昼《へぎそば》を食し車中の人となりました。

今回の山行の企画立案 梅雨に入り幾度ものコース変更 現場での適切な判断等々、リーダーの資質も然ることながらいろいろ勉強させていただきました。

新たに沢山の高山植物と出会い、皆さんに名前を教えて貰いながらの 思い出深い山行となりました。

そして霧雨で見えなかった景色を見に もう一度来たい山となりました。

山茶花 30 た皆さんに感謝申し上げます。

